

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01水道事業費用

項 01営業費用

目 06総係費

事務事業番号 01010601

事業名		サーバホスティング更新事業		担当部署	上下水道部 総務経営課				
根拠法令									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	16,037	15,985	0				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	16,037	15,985					
	人件費(B)	720	720	0					
事業費計(A+B)	16,757	16,705	0						
事業の目的		現在使用しているゼロクライアントシステムを継続利用するために更新します。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 端末サーバホスティングの更新 物理サーバ（ハードウェア）を更新しました。 2 端末サーバ環境の更新 主に以下3点の更新を行いました。 ①メモリやCPUの増強 ②インターネットブラウザをMicrosoftEdgeに変更（サポートの終了に伴う） ③一般会計のサーバと同様の環境へ更新 3 業務サーバホスティングの更新 物理サーバ（ハードウェア）を更新しました。 4 業務サーバ環境の更新 メモリやCPUを増強しました。 							
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				物理サーバ機器の見直し及び仮想サーバの整理による安定稼働が実現されたことから、「4」としました。			
効率性		●				ゼロクライアントシステムのメリットを活かし、管理の手間とコストの削減を実現していることから、「4」としました。			
公平性		●				職員定数や業務での必要性を勘案し、適正な端末配置とアカウント付与を実現していることから、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性		本事業は、上下水道部の業務を遂行していく上で必要な事業です。今後においても、ゼロクライアントシステムを継続して利用するために、更新等を行います。				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号 01010102

事業名		新設事業		担当部署	上下水道部 水道課			
根拠法令		水道法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価	
	予算・決算額(A)		45,797	43,680	35,902			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	6,666	5,133				
		地方債	8,815	8,800	18,000			
		その他	26,730	26,730	15,550			
		一般財源	3,586	3,017	2,352			
	人件費(B)		-	-	-			
	事業費計(A+B)		45,797	43,680	35,902			
事業の目的		給水区域内の開発行為に伴う配水管整備や、消防水利の充実を図るため消火栓の整備を行います。						
事業の内容		<p>1 配水管の新設（負担金事業） ウトナイ南に配水管を新設しました。</p> <p>2 消火栓の新設（負担金事業） 新明町、新開町、あけぼの町に消火栓を新設しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【配水管の新設】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【消火栓の新設】</p> </div> </div>						
SDGs17の目標		  						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		給水普及率		%	99.96	99.96	99.97	
		緊急貯水槽整備率		%	100	-	-	
項目評価		高 → 低		評価の理由				
		4	3	2	1			
有効性		●				配水管の新設による市民の利便性向上や消火栓の新設による消火活動の円滑化につながります。		
効率性			●			開発行為にあわせた配水管整備や消防本部と連携した消火栓整備を効率的かつ計画的に実施しています。		
公平性		●				本事業の実施により水道水利用の市民ニーズに応えられるほか、消火活動の円滑化により市民の安全・安心の確保につながります。		
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、市民ニーズに応えることや消火活動を効率的に実施するために重要であることから、今後も継続的に取組を進めてまいります。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号 01010203

事業名		改良事業		担当部署	上下水道部 水道課				
根拠法令		水道法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)		855,097	610,549			966,711		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳	国道支出金	96,715	29,042			175,750		
		地方債	590,185	420,600			662,300		
		その他							
		一般財源	168,197	160,907			128,661		
	人件費(B)		-	-			-		
事業費計(A+B)		855,097	610,549	966,711					
事業の目的		老朽管は管路内の錆等により濁水が発生しやすくなるほか、地震被害を受けやすいため、耐震管に更新します。また、老朽化した設備を更新することで、安全・安心な水道水を安定的に供給します。							
事業の内容		<p>1 老朽管の更新 大成町、沼ノ端中央、ウトナイ南等の老朽管を耐震管に更新しました。</p> <p>2 老朽施設の更新 錦多峰浄水場の電気設備を更新しました。</p>							
SDGs17の目標									
		【老朽管の更新】		【電気設備の更新】					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		老朽水道管の更新率		%	94.7	95.5	96.1		
		水道施設の耐震化率		%	84.2	84.2	84.2		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●						老朽管や老朽化した設備の更新により、安全・安心な水道水を安定的に供給することができます。	
効率性			●					経営戦略および新水道ビジョン実施計画に基づき、優先順位を定めながら効率的かつ計画的に事業を実施しています。	
公平性		●				本事業の実施により水道システム全体の機能が維持されるため、広く市民の利益につながります。			
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できています。本事業は、水道水の安全性・安定性を維持していくために必要な事業であることから、今後も効率的かつ計画的に取組を進めてまいります。					事業終了の 予定の有無		
							無		
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号 01010304

事業名		量水器施設事業		担当部署	上下水道部 水道窓口課				
根拠法令		計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	494,548	492,062	480,039				A	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	494,548	492,062					480,039
	人件費(B)	0	0	0					
事業費計(A+B)	494,548	492,062	480,039						
事業の目的		水道使用者への料金請求根拠となる水道使用量を計量するため、計量法で定められた検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）の取替え、工事に必要なメーターの購入、家屋の新築等に伴う貸付けに必要な新設メーターの購入を目的としています。							
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 検満メーター取替工事 計量法で定められた水道メーターの検定有効期限（8年）を迎える貸付け水道メーター（11,062箇所）の取替工事を実施しました。 検満メーター購入 上記検満メーター取替工事に必要となる貸付け用の水道メーターを11,062個購入しました。 新設メーター購入 家屋の新築等に伴い、購入した水道メーター984個を貸付けました。 			<p>1: 検満メーター取替工事状況</p> <p>2・3: 購入した水道メーター</p>				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度			
		1. 検満メーター取替工事	箇所	11,935	11,265	11,062			
		2. 検満メーター購入数	個	11,935	11,265	11,062			
		3. 新設メーター購入数	個	1,179	1,045	984			
項目評価		高 → 低	評価の理由						
		4 3 2 1							
有効性		●				水道メーターは、水道料金の根拠となる水道使用量を計量するための重要な器具であり、計量法に基づく定期的な交換及び家屋の新築等に伴う水道メーターの貸付けは、水道事業にとって必要不可欠です。			
効率性		●				検定有効期間満了により交換するメーター数は、年度ごとに大きな差が生じないように平準化をし、効率的な実施に努めています。			
公平性		●				計量法に基づく定期的な交換工事を行うことで、公平かつ公正な水道料金の賦課・徴収につながっています。			
事業の課題 今後の方向性		<p>これまでは水道メーターとそれに付随する受信器を同時に交換していたため、大きな費用負担が課題となっていました。今後は法令等で定期的な交換の定めがない受信器の交換時期を延ばすことで、事業費の低減が期待できると考えています。</p>				事業終了の 予定の有無			
						無			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号 01010605

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 錦多峰浄水場			
根拠法令		水道法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	1,687	1,197	6,758				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳							
	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,687	1,197	6,758				
人件費(B)	0	0	0					
事業費計(A+B)	1,687	1,197	6,758					
事業の目的	水道水の安全性を確保するため、水質検査に必要な固定資産の整備を計画的に行います。							
事業の内容	<p>水質検査に必要な機器の更新</p> <p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  </div> </div> <p>薬用保冷庫 1台 水質検査に必要な薬品を保存するための保冷庫</p> 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	機器・装置の整備		台	2	1	1		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3					2	1
	有効性	●				機器の更新により水質検査が適正に行われるため、水道水の安全性を持続的に確認することができます。		
	効率性	●				各種機器類について耐用年数を考慮した更新計画を策定し、整備を実施しています。		
公平性	●				水質検査に必要な機器を更新することにより、安全・安心な水道水を安定的に供給することができるため、広く市民の利益につながります。			
事業の課題 今後の方向性	項目評価のとおり、目的に適った固定資産の整備ができています。本事業は、水道水の安全性を確保するために重要であることから、今後も効率的かつ計画的に取組を進めてまいります。					事業終了の 予定の有無		
						無		
特記事項								